

報道機関向け声明発表

CTVビル倒壊に関する犯罪捜査の進展について

本日、ニュージーランド警察は 2011 年 2 月に発生した CTV ビル倒壊事故に関し、今後の犯罪捜査を進展させることを確認しました。

ピーター・リード刑事局長によれば、警察当局は倒壊事故の犠牲者遺族に対し、この決定をすでに通知しています。この決定に至るまでに、過去 18 ヶ月間にわたって、幅広い情報源から収集した膨大な情報の査定評価を行ってきました。

「これらの情報に基づき、2011 年 2 月に発生した CTV ビル倒壊事故に関する刑事捜査のさらなる進展を正当化できる証拠が揃ったと確信しています」と同刑事局長は述べています。

「調査の一環として、エンジニアコンサルティング会社ベカと契約し、CTV ビルの倒壊原因に関する専門的所見を集めました。さらに、CTV ビルの設計・建設関係者が当時の建設基準から著しく逸脱し、重大な過失を引き起こした可能性についても、同社の専門的所見を求めました。

「一部の調査についてはベカ社の審査結果を待っている状態ですが、同社による作業のほとんどは完了しています。今日までの完了作業に基づき、警察は刑事捜査の進展を正当化できる情報が揃ったという見解に達しました。

「しかし、捜査の完結までには相当量の作業が伴い、現時点においては、その結果は未知数であるとしか申し上げられません」

リード刑事局長によれば、情報収集のために捜査班が結成され、必要に応じてカンタベリー地震王立委員会の調査で過去に証言を行った一部の関係者、ならびに捜査協力者に対する再聴取を実施しました。

「この捜査段階において収集された追加情報は、今後何者かに CTV ビル倒壊の犯罪責任を追及するか否かを判断する際の材料となります。

「今後、刑事責任の追及を決定するまでにどれくらいの時間がかかるかを見極めるには時期尚早ですが、関係者各位には捜査の進行に従い、逐次ご報告申し上げます」

完